

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

雪のやうに白し。

Q2. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

玉のごとし。

Q3. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

夢のごとくにぞある。

Q4. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

風のやうなり。

Q5. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

月のやうの人。

Q6. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鶴のごとき翼。

Q7. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

仏のやうに尊し。

Q8. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

雲のごとく消ゆ。

Q9. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

玉のやうに美し。

Q10. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

春のあけぼののやうなるもの。

Q11. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

我が思ふごとし。

Q12. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

月のやうの夜。

Q13. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

夢のごとき幻。

Q14. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

花のやうに散る。

Q15. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

古典の心、玉のごとし。

Q16. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

雷のごとく響く。

Q17. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

流るるやうに過ぐ。

Q18. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鳥のごとき身軽さ。

Q19. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

いと玉のやうなる面持ち。

Q20. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

我が君は仏のごとし。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

行く水の流るるやうなり。

Q22. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

過ぎし日は夢のごとし。

Q23. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

春の風吹くやうに心地よし。

Q24. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

矢のごとく駆ける。

Q25. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

老いたる者の言ふやうなり。

Q26. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鬼のごとき形相。

Q27. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

朝霧のやうなるもの立ちのぼる。

Q28. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

我がごとく思ふべし。

Q29. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

渡る舟のやうに揺らぐ。

Q30. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

君が御心は石のごとし。

Q31. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

思ふやうにならず。

Q32. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

鏡のごとくに澄める池。

Q33. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

春雨降るやうなり。

Q34. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

いかなるやうの事ぞ。

Q35. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

父のごとき慈愛。

Q36. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

月のやうに清き心。

Q37. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

流るる水のごとく過ぎぬ。

Q38. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

此の世のあだなる事は浮雲のやうなり。

Q39. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

賢人のごとき人なし。

Q40. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

我が言ふやうに聞き給へ。

Q41. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

いにしへ思ふは昨日のごとし。

Q42. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

花のやうなる頬。

Q43. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

親のごとく慕ふ。

Q44. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

露のやうに消ゆ。

Q45. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

千歳もありぬべきごとし。

Q46. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

そのやうの事は知らず。

Q47. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

山のごとき波。

Q48. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

川の流るるやうなりけり。

Q49. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

我らが思ふごとく。

Q50. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

子の親を慕ふやうに。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

散りなむやうに惜しまるる。

Q52. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

露の身の消えなむごとし。

Q53. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

夢を見たるやうなり。

Q54. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

いみじきごときことなし。

Q55. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

蟬の声蟬時雨降るやうに聞こゆ。

Q56. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

水の流るるごとく過ぎぬ。

Q57. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

あのやうのこと言はず。

Q58. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

君の徳は山海のごとし。

Q59. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

雨降る日の続くやうに憂し。

Q60. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

玉のごとくに転ぶ。

Q61. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

春の眠りの覚めぬやうなり。

Q62. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

童のごとき心。

Q63. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

仏の御心のやうに清し。

Q64. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

友のごとく親しき。

Q65. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

あくる年も同じやうに過ぐ。

Q66. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

我れ汝を見ること父母のごとし。

Q67. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

神のやうなるお方。

Q68. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鶴のごとき翼を持つ。

Q69. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

過ぐる年月、夢のやうに思ふ。

Q70. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

雲のごとく散る。

Q71. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

かばかりのやうの事。

Q72. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

紅葉、錦のごとし。

Q73. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

鏡の面のやうに静かなり。

Q74. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

流星のごとく速し。

Q75. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

怨むるやうなり。

Q76. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

いたづらなるごとき人。

Q77. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

子のやうにかしづく。

Q78. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

願ふ事は皆かなふごとし。

Q79. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

思はぬやうなる目を見つ。

Q80. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

月日のごとく過ぐ。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

学びて時に之を習ふ、また説ばしからずや。朋遠方より来る、また楽しからずや。人知らずして慍らず、また君子ならずや。我れ視ること彼のごとし。

Q82. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

行く川の流れは絶えずして、しかも本の水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人と栖と、又かくのやうに消えゆく。

Q83. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

行く水のごとくにぞ。

Q84. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

風の前の塵に同じ。たけき者も遂にはほろびぬ、偏に風の前の塵に同じ。世の人みなかくのやうなるものなり。

Q85. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

一念三千の理、玉のごとし。

Q86. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

同じやうの心ばへなる人。

Q87. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

此のしぶとき翁のごときもの。

Q88. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

いはむやうにもあらず、書かまほし。

Q89. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

故老の言ふごとくにて。

Q90. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

一夜の夢のやうなり。

Q91. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

人の心は野の風のごとし。

Q92. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

都の人のやうの装ひ。

Q93. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

我れ汝のごとき愚か者を見ず。

Q94. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

風吹けば沖の白浪立つやうに騒ぐ。

Q95. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

玉のごとく光る露。

Q96. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

月の影さしたるやうなる色。

Q97. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

心ある人の言ふごとし。

Q98. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

思ふやうにならぬが世の常なり。

Q99. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

賢人のごとき徳。

Q100. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

桜の花、雪の散りたるやうなり。